

報道関係者各位

駐日韓国文化院・国立国楽院特別企画展 壬寅進宴図屏のなかの朝鮮王室の踊りと音楽

韓国文化院では、韓国の文化財「壬寅進宴図屏（イムインジンヨンドビョン、ソウル特別市有形文化財第543号、544号）」をテーマに特別展「壬寅進宴図屏のなかの朝鮮王室の踊りと音楽」を韓国国立国楽院 国楽博物館と共同で開催する運びとなりました。

「壬寅進宴図屏」は1902年、高宗〔コジョン：朝鮮王朝の第26代王〕が51歳の時に耆老所〔キロソ：年老いた高官の文臣たちの親睦と礼遇のために設置した官署〕に入所する儀式的流れと、この儀式を記念する進宴〔宮中のお祭り〕の場面を描いた十幅屏風です。

「壬寅進宴図屏」は歴史的事実を記録しているため、実際の進宴の流れと時代状況を正確に表しており、当時行われた宮中舞踊の種目と楽器編成など韓国伝統の音楽と踊りを把握することができる貴重な資料です。

本展では「壬寅進宴図屏」を詳しく紹介するため、屏風の中にご覧いただける奚琴（ヘグム）、伽倻琴（カヤグム）、螺角（ナガク）のような韓国伝統楽器14点と春鶯囀（チュンエンジョン）服飾、緑袖衣（ノクジュイ）などの服飾資料6点、朝鮮時代の文献資料3点、屏風1点、舞踊動画資料6点などを紹介します。

つきましては、本イベントの周知にご協力いただけますようお願いいたします。

資料のご依頼、取材のお申し込みは、韓国文化院(03-3357-5970)までご連絡下さいますようよろしくお願ひ申し上げます。

【イベント概要】



■会期：2023.12.4（月）～2024.3.16（土）10:00～17:00

※開幕式：2023.12.4（月）14:00～15:30

※休館日：日・祝日、年末年始（12/26㊟～1/6㊟）、韓国の休日（3/1㊟）

■会場：韓国文化院 ギャラリーMI →入場無料

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-10

■アクセス：地下鉄メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」一番出口より徒歩3分

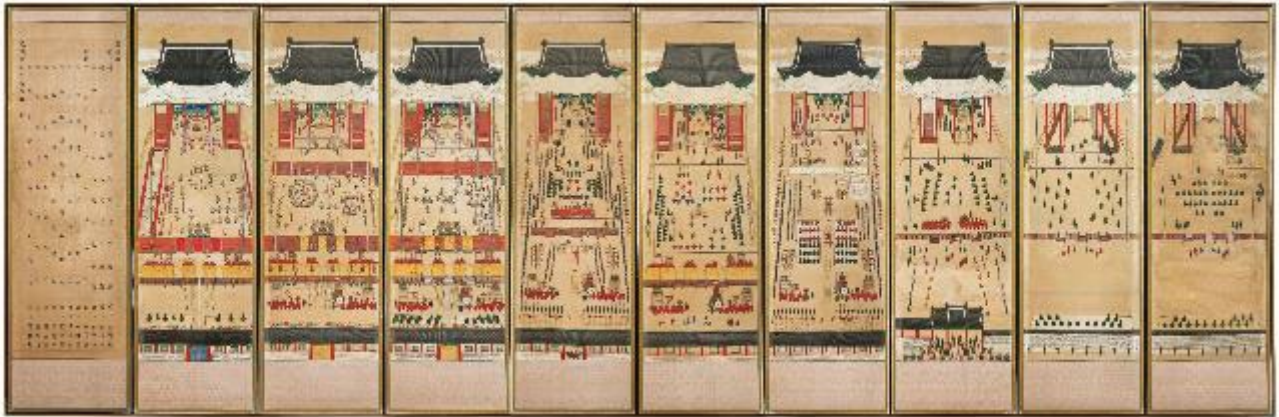
■展示内容：韓国国立国楽院が所蔵している文化財「壬寅進宴図屏」とそのなかに見られる韓国の伝統楽器と服飾、舞踊映像、そして朝鮮時代の文献など24点の展示

■主催：駐日韓国大使館 韓国文化院、国立国楽院 国楽博物館

【お問い合わせ】駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 ◻www.koreanculture.jp

イベント担当 河聖煥（ハ・ソンファン） / 広報担当 趙恩京（ジョ・ウンギョン）

【主な作品】



〔屏風〕壬寅進宴図屏(イムインジンヨンドピョン)
十幅屏風、ソウル特別市有形文化財第 543 号、第 544 号



〔動画／屏風の一部〕春鶯囀(チュンエンジョン)
映像、1 分 14 秒



〔服飾〕緑紬衣(ノクジュイ)
拍(パク)を演奏する楽師が着る演奏服



〔文献〕時用舞譜(シヨムボ)
宗廟祭祀の際に踊る佾舞を
記録した唯一の舞譜



〔楽器〕螺角(ナガク)
サザエで作られた管楽器、
大吹打(デチタ)や
仏教儀礼などに使われる



〔楽器〕伽倻琴(カヤグム)
桐の甲に 12 本の弦で
構成された弦楽器



〔楽器〕拍(パク)
硬い木片 6 枚を編んで
作った楽器

【国立国楽院】



韓国・国立国楽院は韓国の伝統芸術を正しく伝承し、世界における韓国の文化価値を高めるために活動している国立音楽機関です。国立国楽院は 1995 年に国楽博物館を設立し様々な韓国の国楽遺物と楽器関連の企画展や教育プログラムを運営することで、日常生活で国楽の美しさを感じていただけるように取り組んでいます。

「お問い合わせ：韓国文化院 河・趙 ☎03-3357-5970 ✉ postmaster@koreanculture.jp」